

期間 令和7年2月17日～2月28日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		4		パーテーションを活用し、集中して取り組めるスペースづくりを心掛けている。公共体育館等の施設を積極的に利用することでスペース不足を補うようにする。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	1		管理者兼児童指導員1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員1名、運転手1名が配置されている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		出入口外側にはスロープがあり、事業所内にも段差は無い。トイレにも手すりが設置されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		毎週、活動の振り返りの会議を位置付け、意見交流をして改善につなげている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		年に1回アンケートを行い、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			法人のホームページに掲載し、公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		1	実地指導にて評価を受け、結果を業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		法人内の他の放デイとの定期的な研修を行っている。必要と思われるWEB研修にも参加し、他の職員にも伝達研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			アセスメントの際に、目標に対する達成状況や気になる点を伝え、保護者のニーズや課題に合わせて計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		共通したアセスメント用紙を使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			毎月、担当者が立案した活動プログラムの計画会を位置付け、意見交流を行なう場を設定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			5領域を踏まえた目標を設定し、複数の職員がプログラムを立案することで固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			利用時間に合わせて、1日のタイムテーブルを変更し、その時々に合わせて支援をするように心がけている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			問題点に合わせて、個別的な支援が必要なのか、集団的な支援が必要なのかを考え、計画の作成をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		支援する職員の分担や役割の確認を行うようにしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	4			毎週、活動の振り返りの会議を位置付けている。それ以外は、必要に応じてその都度行なうようにしている。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎日、記録をとり職員間で情報を共有し、検証や改善につなげている。	

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		6ヶ月毎に1回モニタリングを行い、計画を見直している。必要時にはその都度モニタリングを行なう。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			グループ活動や個人活動において行っている。また長期休業中に地域の施設を活用したり買い物学習を行ったりしている。
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4			計画作成者の児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			利用予定を共有したり、送迎時に必要に応じて情報の共有や連絡調整をしたりするようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			必要に応じて、保護者と話し合い、連絡体制を整えるようにしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		今年度は対象児が居なかったため、就学前の情報共有はされていない。今後、対象児がいる場合は、情報共有を行う機会を設け、相互理解に努める。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2		事前に次の施設と連絡をとったり訪問したりすることで、不安なく過ごせるよう個別支援計画にも取り込んでいる。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携がしっかりとできていない。専門機関の助言を受ける機会を設けていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	利用時間の問題もあり、交流は難しい。長期休暇等に外出活動（買い物体験や、地域の公園や商業施設等に行く）を取り入れている。今後、交流の方法等を検討していく。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			LINEで伝えつつ、送迎時など保護者の方と対面した際に、その日のエピソードや気になる点があれば伝えるようにしている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	ペアレントトレーニング等の支援の機会を設けることはできなかった。今後は、どのような支援ができるのかを検討していきたい。
	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			見学时や契約時にパンフレットや重要事項説明書等で行っている。
保護者への説明責任等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			相談があった時には、家庭での様子を聞いた上で事業所での様子を伝え、必要な助言をするようにしている。聞いた内容や伝えた内容は他の職員にも報告をし、共有している。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	2	サッカー教室やスケボー教室等法人での交流の機会の案内はしているが、保護者会等の開催は行っていない。保護者同士の交流の場を設定する方法を検討していく。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			保護者からのご意見に対し、迅速かつ丁寧な対応ができるように体制を整えていきたい。些細な事でも真摯に受け止め、改善できるよう努めている。

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			定期的（年 4 回）会報を発行している。また、活動予定や長期休暇の様子の写真等を LINE で提供している。
	③④	個人情報に十分注意しているか	4			個人情報に関する書類等は鍵のある書庫に保管し、個人情報には十分注意している。
	③⑤	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			LINE や連絡帳による意思疎通や情報伝達のみでなく、送迎時に必要に応じて情報の共有を行っている。
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	地域交流の場が全くないので、今後検討していきたい。
非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		職員間では周知できているが、保護者まで周知できていなかったため、文書を配付し周知できるようにした。見直しをしながら更に改善していきたい。
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			嘉百合園、ひめゆりケアルームと合同で行っている。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待に関する WEB 研修を受け、他の職員にも伝達研修を行った。虐待に関する職員の意識調査を行い、教唆結果の集計をもとに事業所内研修を行うことで意識向上に努めている。
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放	1	3		どのような場合が身体拘束となるのか事例を挙げながら職員で共通理解する場を設けた。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		医師の指示書は無いということで、母親の指示に合わせて対応している。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4		気になる点はその都度情報共有している。今年度は 2 件の事例を施設長会議で書面により報告したが事例集は作成していない。

令和6年度 放課後等デイサービス評価表（保護者様）

かゆりスクール期間 令和7年2月10日～2月28日 配布8名 回収8名 回収率100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	事業所コメント
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	3			長期休暇等に体育館などの施設を利用した活動を取り入れることで補っていった。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8				
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	8				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8				固定化しないような工夫が伝わっていて励みになった。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	2	地域の中で障害のない子どもたちと交流する機会を検討していきたい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8				LINE や連絡帳等を活用した共通理解のみでなく、面談等による連携も図っていきたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7		1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	5		長期休業中等に保護者同士の交流の場を設定できるような方法を考えていきたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	1	1	保護者からのご意見に対し、迅速かつ丁寧な対応ができるように体制を整えていきたい。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	2			今後もLINE による活動の様子の子の配信や連絡帳による情報伝達を大切にしていきたい。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1			今後もLINE による月1回の活動写真の発信をしていきたい。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	6	2			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	4	1		職員間で周知していることを保護者にも周知できるように検討したい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1			

令和6年度

放課後等デイサービス評価表（保護者様） かゆりスクール

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	無回答	事業所コメント
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1			更に楽しみにしてもらえるような活動や支援を工夫していきたい。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	7	1			今後も支援に満足していただけるよう、丁寧な支援を心がけていきたい。

アンケートにご協力いただいた皆様ありがとうございました。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かゆりスクール		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・グループ活動に力を入れ、集団との関わりの中で個が成長できるよう取り組んでいる。 【健康・生活】【運動・感覚】【認知・行動】【言語・コミュニケーション】【人間関係・社会性】の5領域を計画的に取り入れて活動を仕組んでいる。	・毎月、次月の活動の計画会を行っている。 活動の目的や内容を職員が共通理解することで、子どもたちが楽しく活動できるように心がけている。 ・毎週グループ活動の振り返りの会議を行っている。 職員間の意見交流を行うことで、改善点を明確にし、より充実した活動になるように努力している。	・活動に必要な道具の製作や補充を行っていく。
2	・経験が豊富であり、熱意のある職員集団である。 「全ては子どもたちの笑顔と自立のために」を理念に掲げ、全職員が真摯に療育に向き合うように心がけている。必要な研修は積極的に受講し、事業所内研修を行うことで職員間で共有するようにしている。	・毎週行っているグループ活動の振り返りの会議の際に、受講した研修の伝達研修を行い、全職員が同じ歩調で支援にあたるようにしている。	
3	・保護者との連携を大切にしている。 連絡帳以外にLINEを活用し、利用時の様子を文章だけでなく写真等でも知っていただくようにしている。保護者からの連絡やご意見等もLINEでやり取りし、必要に応じて直接話すようにしている。	・LINEを使うことで、気軽にやり取りをすることができる。 保護者の方が時間を気にすることなく送れる。(電話だとすぐに出不れぬ場合がある。)	・より迅速かつ丁寧な対応に心がけていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースがやや狭いため、運動領域の活動が限られたものになりがちである。	建物の構造上の問題である。	地域にある施設を活用することで補っていく。 (北西部体育館、友愛アリーナ等)
2			
3			